

## 1 期待する生徒像

当該学科に興味関心を持ち、次のア、イのいずれかに該当する生徒の志願を期待します。

ア 人物が優れ、スポーツ活動や文化活動等において優れた実績を有し、入学後も意欲的に活動する意志のある者

イ 高校生活に積極的に取り組み、専門性を生かした進路選択を目指す意志のある者

## 2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の得点合計
(2) 調査書	必修教科の評定合計、出欠の記録、特別活動等の記録を資料にする。
(3) 面接	個人面接、面接委員3名、1人当たり10分以内
(4) 志願理由書	記載内容

## 3 評価項目及び評価基準

## (1) 学力検査

評価項目	評価基準
学力検査の成績	5教科の得点合計により評価する

## (2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	調査書中における3年間の必修教科の評定を合計する。 (算式1を使用する)
イ 出欠の記録	3年間で欠席0日の者について、数値化して評価する。
ウ 特別活動等の記録	生徒会活動・部活動の実績について、数値化して評価する。

## (3) 面接

アイウの評価を基にして、ABCの3段階で評価する。

評価項目	評価基準
ア 人物	服装、態度、言葉遣い等を、ABCで評価する。
イ 動機・理由	志望の動機が明確であるか、ABCで評価する。
ウ 適性等	学科への適性、部活動への意欲等を、ABCで評価する。

## (4) 志願理由書

評価項目	評価基準
志願理由書の記載内容	本校の志望学科への意欲を評価する。

## 4 選抜方法

## 選抜の手順

学力検査の合計点に調査書の合計点(点数化したものを含む、最高220点)を加えた数値を順位づけし、面接検査の評価、調査書の記載内容、志願理由書及び自己申告書等を資料とし、総合的に判定して決定する。

## 1 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の得点合計
(2) 調査書	必修教科の評定合計，出欠の記録，特別活動等の記録を資料にする。
(3) 面接	個人面接，面接委員3名，1人当たり10分以内

## 2 評価項目及び評価基準

## (1) 学力検査

評価項目	評価基準
学力検査の成績	各教科の得点の合計により評価する。

## (2) 調査書

評価項目	評価基準
教科の学習の記録	調査書中における3年間の必修教科の評定を合計する。K=1 (算式1を使用する)

## (3) 面接

アイウの評価を基にして，ABCの3段階で評価する。

評価項目	評価基準
ア 人物	服装，態度，言葉遣い等を，ABCで評価する。
イ 動機・理由	志望の動機が明確であるか，ABCで評価する。
ウ 適性等	学科への適性，部活動への意欲等を，ABCで評価する。

## 3 選抜方法

(1) 平成23年度千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項に則り総合的に判定して決定する。

(2) B組にする要件

- ① 学力検査10点未満の教科がある。
- ② 調査書  
第3学年における教科の評定に1がある。  
年間の欠席日数が30日以上ある。
- ③ 面接検査がC評価である。

平成24年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 定16

千葉県立館山総合高等学校 定時制の課程 普通科

1 期待する生徒像

本校定時制の課程において、明確な目的意識を持って学ぶことができる者

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の成績を資料とする。
(2) 調査書	各教科の学習の記録の評定値を資料とする。
(3) 面接	面接の評価を資料とする。
(4) 志願理由書	志望の動機等の記載内容を資料とする。

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科の得点の合計により評価する。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
教科の学習の記録	各学年の全教科の評定の合計値を算式1で求めた値で評価する。

(3) 面接

面接委員3名で、約15分間の個人面接を実施し、A～Cの3段階で評価する。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機等	志望の動機が明確であるか、本校定時制への理解等が十分であるか。
イ 学習意欲等	意欲を持って学習に取り組む姿勢等が見られるか。
ウ 面接態度等	面接態度・身だしなみが適切であるか、言葉遣い等が適切であるか。

(4) 志願理由書

評価項目についてA～Cで評価する。

評価項目	評価基準
志望の動機	本校を志願する動機や理由が明確、かつ、適切であるか。

#### 4 選抜方法

##### (1) 選抜の方法

本校の「期待する生徒像」に基づき、「学力検査の成績」、「調査書の評定の合計値」、「面接検査の評価」と「志願理由書の記載内容」等を総合的に判定して入学者選抜を行う。

「学力検査の成績」、「調査書の評定の合計値」の総合計により順位を付け、以下のア～エに該当する者については、特に慎重に審議しながら、入学許可候補者を内定する。

- ア 学力検査で0点の教科がある。
- イ 調査書で、教科の評定に1がある。
- ウ 面接検査の総合評価がCである。
- エ 志願理由書の評価がCである。

##### (2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加え、提出されたことにより、不利益な取扱いをすることがないように十分留意する。

#### 5 その他

特になし

## 成人の特別入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 定16

千葉県立館山総合高等学校 定時制の課程 普通科

### 1 選抜資料

(1) 成人の特別入学者選抜志願申請書	志望の動機等の記載内容を資料とする。
(2) 作文	作文の評価を資料とする。
(3) 面接	面接の評価を資料とする。

### 2 評価項目及び評価基準

#### (1) 成人の特別入学者選抜志願申請書

評価項目についてA～Cで評価する。

評 価 項 目	評 価 基 準
志望の動機	本校を志願する動機や理由が明確で、適切であるか。

#### (2) 作文

50分間、400字程度で課題作文を実施し、A～Cの3段階で評価する。

評 価 項 目	評 価 基 準
ア 出題内容の理解	課題に対してふさわしい内容か、出題意図の的確な理解ができているか。
イ 具体性	具体例が的確で、説得力があるか。
ウ 論理性	論理的な展開であり、主張が首尾一貫しているか。
エ 表記・表現	誤字・脱字等がなく、適切な表現で、指定された文字数で記述しているか。

#### (3) 面接

面接委員3名で、約15分間の個人面接を実施し、A～Cの3段階で評価する。

評 価 項 目	評 価 基 準
ア 志望の動機等	志望の動機が明確であるか、本校定時制への理解等が十分であるか。
イ 学習意欲等	意欲を持って学習に取り組む姿勢等が見られるか。
ウ 面接態度等	面接態度・身だしなみが適切であるか、言葉遣い等が適切であるか。

### 3 選抜方法

#### (1) 選抜の方法

「成人の特別入学者選抜志願申請書の記載内容」、「作文検査の評価」、「面接検査の評価」等を総合的に判定して入学者選抜を行う。

「作文検査の総合評価」、「面接検査の総合評価」により順位を付け、以下に該当する者については、特に慎重に審議しながら、入学許可候補者を内定する。

ア 成人の特別入学者選抜志願申請書の評価がCである。

イ 作文検査の総合評価がCである。

ウ 面接検査の総合評価がCである。

#### (2) その他

特になし

### 4 その他

特になし

後期選抜の選抜・評価方法

学校番号 定16

千葉県立館山総合高等学校 定時制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の成績を資料とする。
(2) 調査書	各教科の学習の記録の評定値を資料とする。K=1
(3) 面接	面接の評価を資料とする。

2 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科の得点の合計により評価する。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
教科の学習の記録	各学年の全教科の評定の合計値を算式1で求めた値で評価する。

(3) 面接

面接委員3名で、約15分間の個人面接を実施し、A～Cの3段階で評価する

評価項目	評価基準
ア 志望の動機等	志望の動機が明確であるか、本校定時制への理解等が十分であるか。
イ 学習意欲等	意欲を持って学習に取り組む姿勢等が見られるか。
ウ 面接態度等	面接態度・身だしなみが適切であるか、言葉遣い等が適切であるか。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

ア 公立高等学校入学者選抜実施要項に従い、A組となる者は入学許可候補者とする。A組に属さない者はB組とし、全て審議の対象とする。順位付けには算式2を利用し、総合的に判定して決定する。
イ B組にする要件 (ア) 学力検査で0点の教科がある。 (イ) 調査書で、教科の評定に1がある。 (ウ) 面接検査の総合評価がCである。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加え、提出されたことにより、不利益な取扱いをすることがないように十分留意する。
--

4 その他

特になし
------